

# 真・魅力通信



保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

## 第2回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その①

～取組の真化を目指して～



特別支援部

前号に引き続き6月7日（水）に行われた袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会の分散会の様子を取り上げます。「特別支援部」が袋井あやぐも学園カリキュラムをもとに「各園校で具体的にどのように取り組んでいくのか」について協議しました。

### ＜特別支援部より＞

- 授業に落ち着いて取り組めていた。生徒の関心を引き出し、一人一人の実態をよくつかめた授業展開であった。
- (中学1年生の様子から) 出身小学校の壁を感じなかった。クラスにいるから安心だという雰囲気があった。
- 「できた」「できる」という経験を増やしていきたい。
- 小中で授業実践の方法について研修をさらに深めたい。
- 「コミュニケーション力」と「書く力」を伸ばしていきたい。分からないときに聞く力や表現する力が不可欠である。
- 幼小、小中の連携が重要となる。児童・生徒の目線になって、どのように視野が広がり、環境が変わり、自分の成長が感じられるか。そのギャップを極力減らしていくことが大切である。

# 袋井あやぐも学園

## 令和5年度グランドデザイン

### 「あやぐも(彩雲)」

彩雲とは、太陽の近くの雲が虹色になる自然現象ですが、稀にしか見ることができないことから幸運がくる前兆とされています。袋井中校区幼小中一貫教育により子供たちの未来が輝かしいものになってほしいという願いを込めています。

袋井中・袋井東小・袋井西小・袋井北小・袋井東幼・袋井西幼・田原幼・若葉こ・若草こ

(連携校) 今井小(主な連携園) 明第二保・ゆいゆ可睡保・袋井あそび保・たんぼほ第二保・どんぐり保・MOE 保育園てんじん園

袋井市の教育が目指す子供の姿

## 夢を抱き、たくましく次の一歩を踏み出す15歳 「自立力」と「社会力」の育成

学園のめざす子供像

○自主(自立力) 学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿

○協同(社会力) 集団の一員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命汗を流す姿

学園教育目標 「夢を追い続ける子供の育成」

学園経営目標 「幼小中一貫カリキュラムにより自主(Iの力)と協同(Weの力)を育成する学園」

### PDCAで カリキュラムを動かす

目標：子供の意識調査(小6/中3)

「あてはまる」の割合

「学校が楽しい」(70/65)

「みんなで何かをするのは楽しい」(75/73)

「授業に主体的に取り組んでいる」(55/53)

「授業がよく分かる」(55/40)

### 学園全体をつなぐ

- ・学園カリキュラムで目指す姿を共有する。
- ・一貫研と組織(カリキュラム検討委員会・拡大推進委員会)で教職員をつなぐ。
- ・子供理解(振り返り個票、個別的教育支援計画・指導計画等)により指導をつなぐ。
- ・一貫研・学園(学校)運営協議会で学校と地域をつなぐ。はごろも夢講演会で子供観を共有する

主体性  
自己有用感

### 幼小中一貫カリキュラム

生き方部

「働く喜び」を感じ、「住みよいまち」を創造していこうという意欲を持ち、「なりたい自分に向かって歩む子供」を育成する。

授業づくり部

主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子の育成

特別支援部

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、児童生徒の自立力・社会力を育てる。

6つの

体づくり部

「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築く力や目標に向けて努力し続ける力を育てる。

学びづくり部

授業の中で「話す」「聞く」を大切にするとともに、家庭学習を工夫することにより、主体的に学習する態度を養う。

心づくり部

「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる。

就学前教育カリキュラム・幼小接続カリキュラム

6つの部会の分散会での話合いの内容やカリキュラムデザインを紹介してきました。また、定期的にこのグランドデザインにも立ち回り、幼小中での指導の軸をそろえながら取り組んでいきましょう。それが、児童・生徒の学びや成長に還元されていきます。

